

令和元年 7月吉日

各教育委員会教育長 様
各国・公・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関係 係 各 位

第58回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会
大会実行委員長 仲野 健治

第58回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会
茨城大会のご案内（最終案内）

令和元年10月24日(木)・25日(金)



日本三名園 偕楽園と好文亭

大会開催要項

- 主催**
全日本中学校技術・家庭科研究会 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会
茨城県教育研究会家庭、技術・家庭教育研究部
- 後援**
茨城県教育委員会
水戸市教育委員会 ひたちなか市教育委員会 日立市教育委員会
神栖市教育委員会 取手市教育委員会 つくばみらい市教育委員会
古河市教育委員会 下妻市教育委員会 茨城県学校長会
公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会 茨城大学教育学部
日本教育公務員弘済会茨城支部
- 期日**
令和元年10月24日(木)・25日(金)
24日(木) 【理事会・全体会】 ザ・ヒロサワ・シティ会館(茨城県立県民文化センター)
25日(金) 【授業公開・分科会】 9分科会9会場

4 研究主題

<研究主題>

未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む 技術・家庭科教育

<主題設定の理由>

社会経済のグローバル化，絶え間ない技術革新等により，生徒を取り巻く社会構造が急速に変化する中，生徒一人一人が持続可能な社会の担い手として，主体的に意志決定したり行動したりして社会に参画しようとする態度を養うことが「未来の創り手」として重要であると考えます。「未来の創り手」を育むためには，現在及び将来を見据えて，生活や社会の中から問題を見だし，新たな課題に主体的に取り組む態度を育む「主体的な学び」を起点とし，他者と対話したり協働したりする中で，自らの考えを明確にしたり，広げ深めたりする「対話的な学び」を展開することで，現実の技術の世界や，実際の生活の場面との関わりを深める必要があると考えました。

本研究を通して，生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせながら，課題の解決に向けて，自分の考えを構想したり，表現したりすることで，より質の高い「深い学び」の実現を目指します。主体的・対話的で深い学びの上にはじめて「未来の創り手」となるために必要な資質・能力が育まれ，よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度が養われると考え，本主題を設定しました。

5 日程

10月24日(木)

10:30	11:00	12:00	13:00	13:40	14:00	14:50	15:00	16:00	16:10	16:30
理事 研修会 受付	理事 研修会	休憩 全体会 受付	開会式	休 憩	研究発表 研究協議 (茨城・神奈川)	休 憩	指導講評 及び講演	休 憩		閉会式

10月25日(金)

【第1～8分科会】

9:00	9:30	10:20	10:40	11:00	12:00	12:20	13:20	14:20	14:50	15:30
受付 移動	公開授業	移動	開会式	提案発表 研究協議 (茨城)	指導 助言	昼食 休憩	提案発表 研究協議 ※2都県	指導 講評		閉会式

【第9分科会】

9:00	9:30	10:20	10:40	11:00	12:00	12:20	12:40
受付 移動	公開授業	移動	開会式	提案発表 研究協議 (茨城)	指導 助言		閉会式

6 全体会指導助言者

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課

情報教育・外国語教育課 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 上野 耕史 様

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 丸山 早苗 様

7 会 場

《10月24日(木)》【理事会・全体会 会場】

○ザ・ヒロサワ・シティ会館(茨城県立県民文化センター)
水戸市千波町 697 番地 TEL 029-241-1166

【交 通】

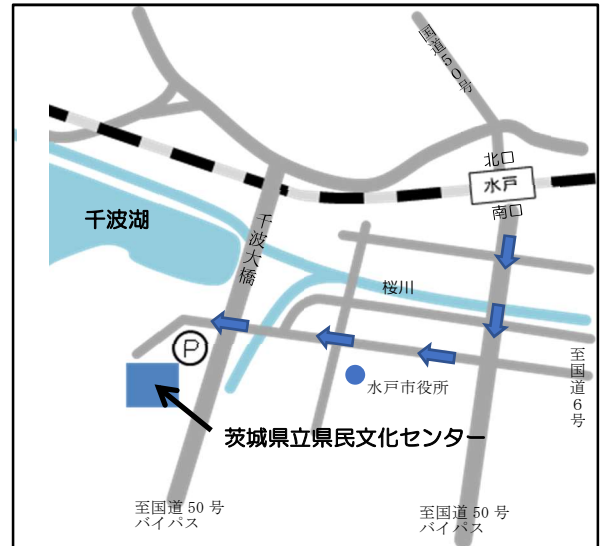
○JR 水戸駅より

- ・徒歩 南口から20分
- ・バス JR 水戸駅北口8番乗り場より

関東鉄道…[行先]文化センター・本郷方面[下車]文化センター
茨城交通…[行先]千波・笠原メディカルセンター前[下車]文化センター

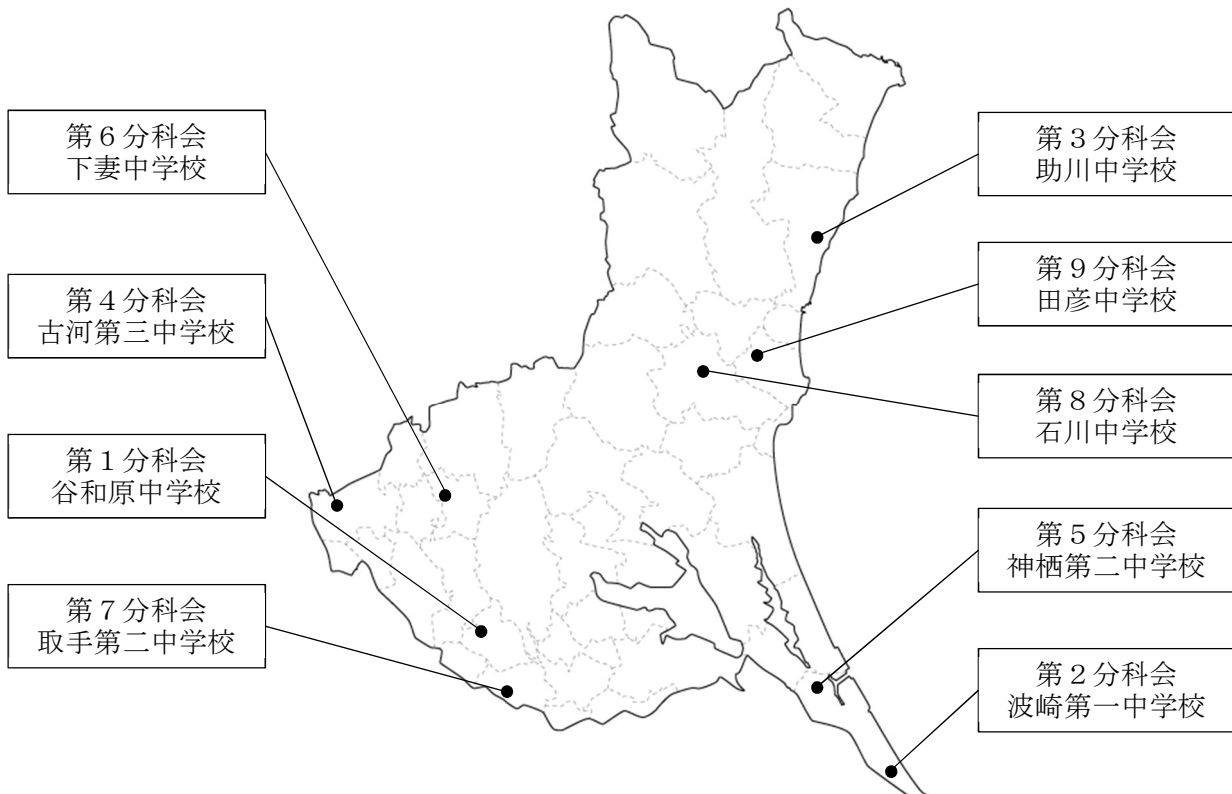
○自家用車

常磐自動車道 水戸 IC から大洗・日立方面へ
北関東自動車道 茨城町東 IC から水戸市内方面へ




《10月25日(金)》【分科会 会場】


分科会	分科会名	授業会場予定校	他都県発表
第1分科会	A 材料と加工の技術	つくばみらい市立谷和原中学校	神奈川 埼玉
第2分科会	B 生物育成の技術	神栖市立波崎第一中学校	新潟 栃木
第3分科会	C エネルギー変換の技術	日立市立助川中学校	山梨 千葉
第4分科会	D 情報の技術(計測・制御)	古河市立古河第三中学校	東京 群馬
第5分科会	A 家族・家庭生活	神栖市立神栖第二中学校	山梨 千葉
第6分科会	B 衣食住の生活(食生活)	下妻市立下妻中学校	神奈川 栃木
第7分科会	B 衣食住の生活(衣・住生活)	取手市立取手第二中学校	埼玉(衣) 東京(住)
第8分科会	C 消費生活・環境	水戸市立石川中学校	新潟 群馬
第9分科会	教育課程	ひたちなか市立田彦中学校	なし

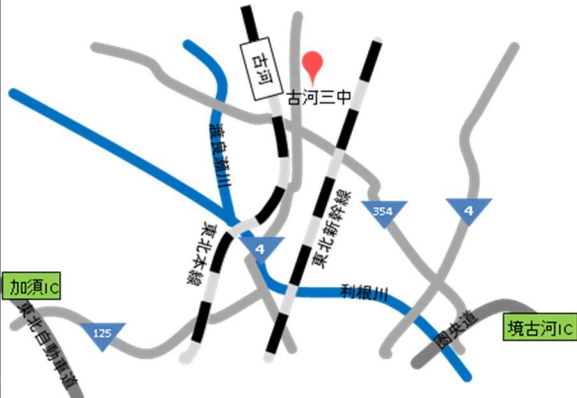



8 各分科会 会場校案内

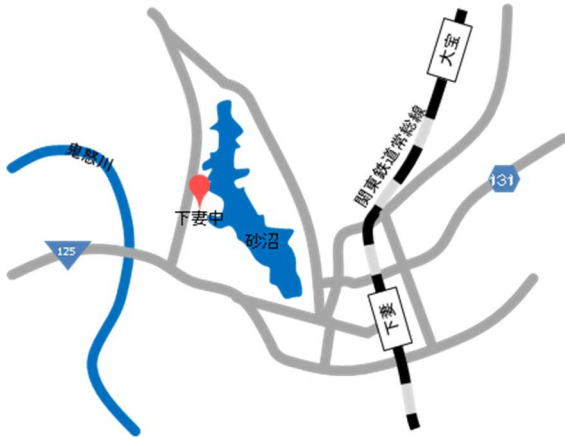
第1分科会	A 材料と加工の技術 つくばみらい市立谷和原中学校 (所在地) つくばみらい市古川950	(TEL) 0297-52-2038 (FAX) 0297-52-2069
	【学校紹介】 谷和原中学校は、「全国成長ランキング」平成27年度全国1位、平成28年度全国2位の茨城県南部のつくばみらい市に位置します。また、つくばエクスプレス「みらい平駅」が学区内にあり、生徒数も年々増加し、本年度開校52年目を迎える活気に満ちた学校で、生徒数は371人、教職員は35人です。今年度は学校長から示された「チェンジ チャレンジ チャンス」を合い言葉に、「あいさつ・授業・チャレンジ」の下、活力ある学校づくりを目指しています。	【会場案内】 
	【研究の見どころ】 生活や社会に目を向け、製品のアイデアを発見し、適切な図を用いて、アイデアを共有する活動を通して、未来を創る資質・能力を育成しています。主体的・対話的で深い学びを実現するために、必修となった第三角法や従来の等角図を用いて、説明をします。加えて、説明に用いる言葉の特許の申請に使われる言葉を参考にすることで、効果的な説明ができるようにする。このような取組から授業で行われる生徒の話合いに深まりをもたせ、生徒の十年後の生活や社会を支えていく基盤となる授業を提案したいと思います。	【交通】 ・常磐道谷和原ICより10分 ・つくばエクスプレス「みらい平」駅よりタクシー10分
	【他県提案】 神奈川 埼玉	


第2分科会	B 生物育成の技術 神栖市立波崎第一中学校 (所在地) 神栖市波崎7070	(TEL) 0479-44-0271 (FAX) 0479-44-0499
	【学校紹介】 茨城県の最東端に位置し、漁業と「千両と若松」で有名な神栖市波崎地区にある創立70周年を超える歴史ある学校です。生徒数は241名で7学級です。地域のボランティア活動や祭りなどの伝統行事に参加するなど地域交流活動が盛んです。学校教育目標「自分・人・社会を大切にする生徒」の育成を目指して日々取り組んでいます。	【会場案内】 
	【研究の見どころ】 ラディッシュを2回栽培する学習において、題材の指導計画を工夫することにより、生徒の変容を明らかにする研究を進めてきました。 生徒が自分自身の実践をR P D C Aサイクルで、根拠に基づき評価・改善し、課題を解決していく様子をご覧ください。公開当日は、技術の見方・考え方を働かせ、2回目の栽培実習を評価し合い、生活や社会、環境との関わりを考える授業を展開します。	【交通】 ・JR成田線「銚子駅」よりタクシー10分 ・東関東自動車道 潮来ICより50分
	【他県提案】 新潟 栃木	


第3分科会	C エネルギー変換の技術 日立市立助川中学校 (所在地) 日立市鹿島町3丁目5番1号	(TEL) 0294-22-5348 (FAX) 0294-22-5347
	【学校紹介】 西に阿武隈の山並み, 東に太平洋を望む工都日立市の中央部に位置し, 創立71年目となる本校で生徒数は297名です。助中生としての誇りを胸に, 気概をもち, 力量を伸ばし, 自己有用感を高めていく「助中プライド」をキャッチフレーズに掲げて, 日々の活動に主体的に取り組んでいく生徒の育成を図っています。また, 海岸清掃やゴミ0作戦等, 地域に根ざした活動を進めています。	【会場案内】 
	【研究の見どころ】 生徒たちが感じている不便を発見し, 技術の見方・考え方を働かせて, 自ら解決できそうな課題を設定し, 試作品を設計・製作する活動を通して, 問題を解決する力を育成します。また, 製作した試作品の良い点や課題, 改良点について検討する場面で, GTを招き, 製作のプロ(エンジニア)の視点からアドバイスをもらう機会を設けます。よりよい作品にするために改良を重ねる活動を通して, 生徒一人一人が, 技術に主体的に関わり, 技術革新を牽引する力を伸ばしていく場面をご覧ください。	【交通】 <ul style="list-style-type: none"> ・JR常磐線日立駅よりタクシー約5分 ・常磐自動車道日立中央ICより約10分
【他県提案】 山梨 千葉		

第4分科会	D 情報の技術 古河市立古河第三中学校 (所在地) 古河市下山町9-5	(TEL) 0280-32-6711 (FAX) 0280-32-6712
	【学校紹介】 本校は, 茨城県最西部のJR古河駅からほど近い住宅地の中にあり, 昭和59年に開校し, 創立36年と古河市内9中学校の中でも新しい学校です。ここ数年, 生徒数は増加傾向にあり, 全校生徒388名, 普通12学級, 特別支援学級5学級となっています。「夢と感動のある古河三中」を合い言葉に, 生徒の主体的な活動を重視し, 「自主的・自立的な生徒」を育てる教育活動に取り組んでいます。また, 本年度の校内研究は, 「自分の考えを適切に表現し, 自分自身を高めることができる生徒の育成」をテーマとしています。全教科において, 「主体的・対話的で深い学び」を目指し, 研究を進めています。	【会場案内】 
	【研究の見どころ】 新学習指導要領では, 生活や社会で利用されている技術の理解と, よりよい生活を創造しようとする実践的な態度を養うことが示されています。これを受けて, 本研究では, 日頃から身近な製品に目を向け, 日常生活と関連させながら自ら課題を見付け解決しようとする学習指導の工夫をしてきました。授業では, 中学校3年間の技術科各分野の統合的な内容を含め, 「あったらいいなをかたちにしよう」をテーマとしました。生活や社会の問題や不便だと感じることをプログラムによる計測・制御を活用して課題解決していく活動(例えば, 地中にある目に見えない根菜類の生長と収穫にセンサを活用)場面を設定しています。	【交通】 <ul style="list-style-type: none"> ・JR東北線古河駅よりバス8:40発6分 ・東北自動車道 加須ICより25分 ・圏央道 境古河ICより25分
【他県提案】 東京 群馬		

第5分科会	A 家族・家庭生活 神栖市立神栖第二中学校 （所在地）神栖市平泉東1丁目60-1	(TEL) 0299-92-0652 (FAX) 0299-93-2760
	【学校紹介】 生徒数602名, 全校26学級(含特支9学級)の学校です。鹿島港を擁する鹿島臨海工業地帯の開発に伴い, 人口の流入も多く, 住民の生活様式も大きく変わり, 急速な都市化をしている地区となっています。学校目標「友達大好き, 運動大好き, 勉強大好き, 二中学生」の具現化を目指して, 地域の皆様と共に教育活動を推進しています。	【会場案内】 
	【研究の見どころ】 少子高齢化が進む社会の一員として, 「家族・家庭や地域とのよりよい関わり方」をテーマに学習していきます。当日は幼児から高齢者をはじめ様々な人々が集まる防災訓練において, 家族や高齢者など地域の人々との関わりについて問題を見だし, 既習事項や生活経験と関連付けて考え, 適切な解決方法について友と話し合っていきます。中学生はどう工夫をすれば, 家族や高齢者など地域の人々と関わり協働できるか友と考える姿をご覧ください。	【交通】 ・鹿島線「潮来駅」よりタクシー20分 ・東関道「潮来IC」より15分
	【他県提案】 山梨 千葉	

第6分科会	B 衣食住の生活（食生活） 下妻市立下妻中学校 （所在地）下妻市長塚乙38-1	(TEL) 0296-43-3961 (FAX) 0296-44-7428
	【学校紹介】 県西部の下妻市に位置し, 日本百名山の一つ筑波山を望み, 緑豊かな木々が繁茂する砂沼公園の静かな環境の中に立地しています。創立51年目を迎え, 全校21学級, 生徒数560名。校訓「自主・自律・自立」のもと, 徳・知・体の調和のとれた生徒をめざして日々の教育活動を行っています。アテネと北京オリンピックで連続してメダルを獲得した女子柔道の塚田真希選手は本校の卒業生であるなど, 文武両道を合言葉に取り組んでいます。	【会場案内】 
	【研究の見どころ】 気付きノートを活用したり, パフォーマンス課題を提示したりしながら, 材料に適した調理の仕方や効率的な調理計画について調査したことを, 課題解決に生かす場を工夫します。当日は「茨城の魅力度ランキングアップ定食を考えよう」と題し, 条件に合わせた献立を作成していきます。ポスターセッション方式を活用し, 互いに交流し合い改善策を見いだす活動を行います。深い学びにつながる授業を展開する姿をご覧ください。	【交通】 ・常総線下妻駅下車 シモンちゃんバス西行き砂沼サンビーチ下車徒歩5分 関東鉄道バス古河行長塚下車徒歩10分 ・国道125号砂沼公園入口を北へ下妻中入り口
	【他県提案】 神奈川 栃木	

第7分科会	B 衣食住の生活（住生活） 取手市立取手第二中学校 （所在地）取手市寺田5147	(TEL) 0297-72-0102 (FAX) 0297-72-0105
	【学校紹介】 茨城県の南端に位置し、利根川とその交流である小貝川の二大河川が流れる水と緑に恵まれた地域です。 創立65年目を迎え、「人間尊重の精神に基づき、心身ともに健康で知性と根性に富んだ人間性豊かな生徒」の育成の学校目標のもと、全校生徒約569名で「あいさつ・そうじ・思いやり」をモットーに各種教育活動に日々取り組んでいます。	【会場案内】 
	【研究の見どころ】 家庭内の事故防止や自然災害に備える住空間の整え方に着目し、幼児や高齢者の家庭内事故を防ぐ安全管理の面と地震などの自然災害での危険箇所の予測や二次災害を防ぐ対策の面について考えていきます。 当日は、「大地震が起こったときに家族の安全を守るために」日頃の対策と震災時の対処などを学習してきたことをもとに検討していく姿をご覧ください。	【交通】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関東鉄道常総線「寺原駅」より徒歩5分 ・ J R常磐線「取手駅」よりタクシー10分 (2.7 km) ・ 常磐道「谷和原 I C」より15分
【他県提案】 埼玉（衣） 東京（住）		

第8分科会	C 消費生活・環境 水戸市立石川中学校 （所在地）水戸市堀町2304-2	(TEL) 029-254-1700 (FAX) 029-254-1302
	【学校紹介】 水戸市の西部、J R赤塚駅の北側に位置し、豊かな自然環境に囲まれた全校生徒270名（9学級）の学校です。一小一中という特色を活かし、合同引き渡し訓練、総体・新人戦合同激励会、小中一貫授業、地域ボランティア活動など、9年間を見通した教育の充実を図っています。開校以来37年間続く生徒会の「門松づくり」は地域の方々のつながりを大切にされた伝統行事となっています。「協働を活かし、お互いの良さを認め、伸ばす」をめざした教育活動に取り組んでいます。	【会場案内】 
	【研究の見どころ】 家族が必要とする商品の選択というパフォーマンス課題を用い、自分たちで学んだ知識や情報を総合的に活用し、互いに学び合う授業を展開します。授業を通して、生徒達が新しい視点を発見し、これからの生活を展望して課題を解決していく姿をご覧ください。また、自らの生活と学習をつなげる「気付きノート」、学びの軌跡を確認できる「コンシューマージャーナル」の活用にもご注目ください。	【交通】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 常磐線 赤塚駅下車 茨城交通バス（赤塚駅から徒歩約8分巡見バス停より）水戸駅北口行 約4分 石川二丁目バス停下車 徒歩約4分 ・ 常磐線 水戸駅下車 茨城交通バス（水戸駅北口バス停より）大塚東・済生会病院・双葉台二丁目行 約19分 石川小学校前下車 徒歩約17分 川和田団地車庫行 約19分 石川小学校前下車 徒歩約17分 ・ 常磐自動車道 水戸 I Cより約12分
【他県提案】 新潟 群馬		

第9分科会	教育課程 ひたちなか市立田彦中学校 (所在地) ひたちなか市田彦1442-1	(TEL)029-274-9383 (FAX)029-274-9351
	【学校紹介】 本校は、ひたちなか市の西側に位置し、今年で創立27周年目を迎える市内では最も新しい中学校です。現在、全校生徒423名、全校16学級(含特支4学級)からなり、「自分を律し、他人を認めるとともに夢や希望をもち、一生懸命前進する生徒の育成」を教育目標に掲げ、日々の教育活動にあたっています。その中でも、「主体的に学ぶ生徒の育成」を目指した授業づくりに積極的に取り組み、「問い・探究・表現」の流れを意識した聴き合い学び合う授業展開を実践しています。	【会場案内】 
	【研究の見どころ】 技術分野の学習と教科等間・学校段階間の学びをつなげるカリキュラム・マネジメントの実現に向けて研究を進めてきました。当日は、技術分野の学びを中心に据え、学びのつながりを重視した3年間の教育課程と、D(2)「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツに関するプログラミングによる問題の解決」における、仮想SNSを利用した課題の解決の授業を提案していきます。	
	【交通】 <ul style="list-style-type: none"> ・JR常磐線「勝田駅」「スマイルあおぞらバス」田彦・金上コース ・常磐道「那珂IC」より約20分 	【他県提案】 なし

9 大会諸経費

○大会参加費(資料代)4,000円 ○弁当代(一食+飲み物:希望者)1,000円(24日・25日)

10 参加申し込み

(1)申込期限 令和元年9月13日(金)

(2)申込先 各都県技術・家庭科研究会事務局 (各都県事務局→茨城大会事務局宛9月27日必着)

(3)申込方法 別紙「大会参加申込書」に必要事項をご記入の上、現金を添えてお申込みください。

※必ず各都県事務局経由でお申込みください。

(4)その他 ・大会事務局に振り込まれた大会参加費・昼食代は返金できませんので、欠席の場合は各都県事務局経由で茨城大会事務局へご連絡ください。

・資料参加の場合は、必ず受取者をご記入ください。

11 宿泊申込み

(1)申込期限 令和元年9月27日(金)

(2)申込先 東武トップツアーズ株式会社 水戸支店

〒310-0803 茨城県水戸市城南2-1-20 井門水戸ビル6階

TEL 029-224-6627 FAX 029-224-9253

(3)申込方法 希望者は、別紙(宿泊のご案内)をご確認の上、案内に沿って直接お申込みください。

※大会参加申込みとは別ですのでご注意ください。

第58回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 茨城大会事務局

○茨城大会実行委員長

水戸市立酒門小学校 校長 仲野 健治

〒310-0841 茨城県水戸市酒門町1445-1

TEL: 029-247-5952 FAX: 029-247-

5764

○茨城大会事務局長

茨城大学教育学部附属中学校 教諭 滝本 穰治

〒310-0056 茨城県水戸市文京1-3-32

TEL: 029-221-5802 FAX: 029-221-3387

E-mail: joji.takimoto.tech@vc.ibaraki.ac.jp

茨城大会Webページ

<http://kyoikuplaza-ibk.or.jp/kenkyukai/>各研究部/家庭技術・家庭教育研究部

